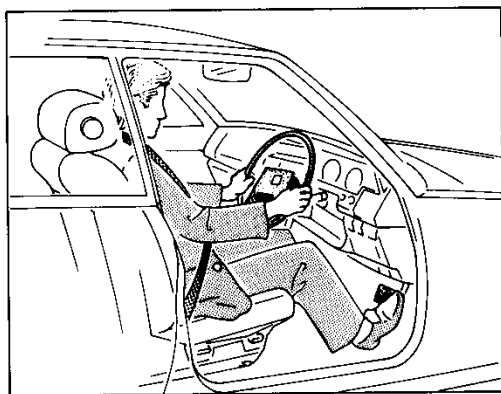


## フロント・シート

## シート、シート・ベルト、チルト・ステアリング、ミラーの調整

フロント・シート	24
リヤ・シート	25
シート・ベルトの装着	26
チルト・ステアリング(上下調整式ハンドル)	28
防眩ミラー	29
電動リモコン・ミラー	29

シート、シート・ベルト、チルト・ステアリング、ミラーの調整



## フロント・シート

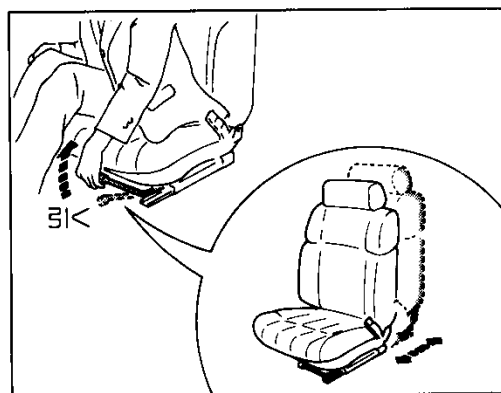
## ■シートの調整

正しい姿勢で運転するため、次の事項に注意して調整します。

- ペダルが十分踏み込めること
- ハンドル操作が楽にできること
- 背もたれから背を離さないこと

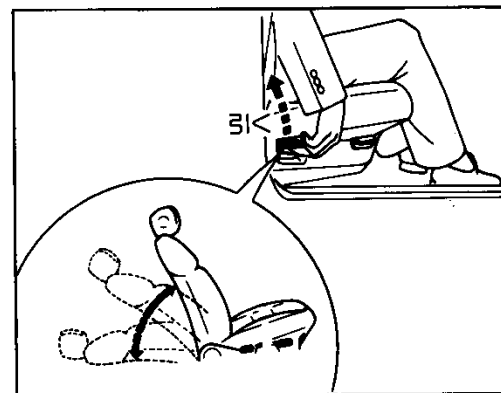


- 注意！
1. 調整は、必ず走行前に行ってください。
  2. 調整後、シートを軽くゆさぶり確実に固定されていることを確認してください。



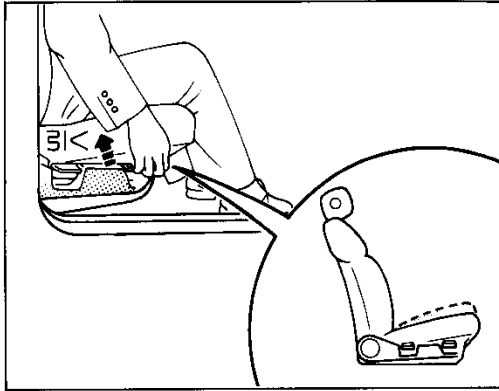
## ▶前後位置調整

1. レバーを引き上げている間、前後の位置調整ができます。
2. 調整後、シートを軽くゆさぶり、確実に固定されていることを確認します。



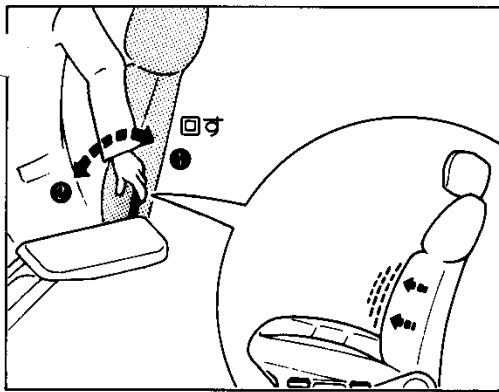
## ▶リクライニング調整

1. 調整後、背もたれを軽くゆさぶり、確実に固定されていることを確認します。



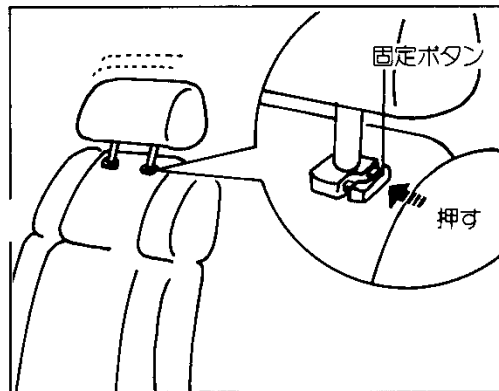
▶シート上下アジャスター(シート・クッション前部の高さ調整)

1. レバーを引き上げている間、シート・クッション前部の高さを4段階に調整することができます。
2. 調整後、シート・クッションを軽くゆさぶり、確実に固定されていることを確認します。



▶ランバー・サポート(背もたれ腰部硬さ調整)

1. レバーを①→②へ動かすと背もたれの腰部の硬さがかわります。
2. 1.の操作を繰り返すことにより、硬さを4段階まで調整できます。



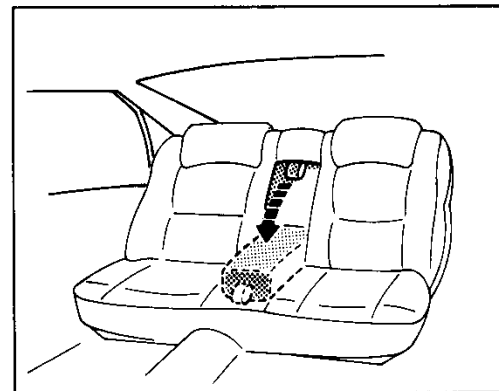
▶ヘッド・レスト

1. 上げるときはそのまま引き上げ、下げるときは固定ボタンを押しながら下げます。



注意!

1. ヘッド・レストの高さが耳の後方になるように調整し、ヘッド・レストと頭の間をにぎりこぶし以上あげないでください。
2. 正しい位置で使用しないと危険防止に役立ちません。
3. 背もたれと背中の中にクッションなどをいれると危険防止に役立ちません。

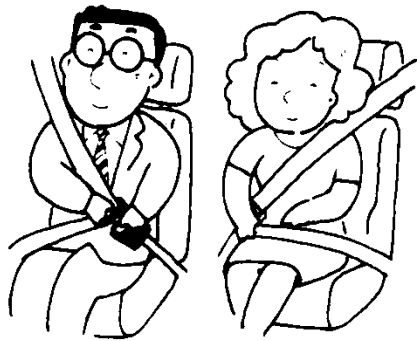


リヤ・シート

■センター・アーム・レスト(ひじかけ)

ツマミを持って、引き出すように前へ倒します。

## シート・ベルトの装着



## シート・ベルトの装着

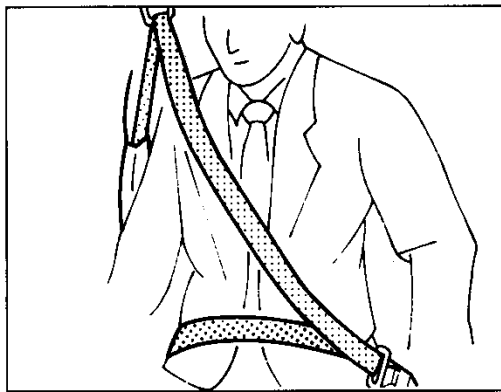
シート・ベルトは正しく装着しないと効果が半減したり危険な場合があります。次の使用方法、注意にしたがってシート・ベルトの正しい取り扱いを身につけてください。



ちょっと一言

1. 走行前に必ずシート・ベルト装着してください。
2. 腰部ベルトは、必ず腰骨の位置に装着してください。やわらかい腹部にかけると万一のとき強い圧迫を受け危険な場合があります。□次の「装着のしかた」を参照してください。

シート、シート・ベルト、チルト・ステアリング、ミラーの調整



## ■フロント・シート・ベルト

## ▶ELR付き3点式(緊急時固定式)シート・ベルト

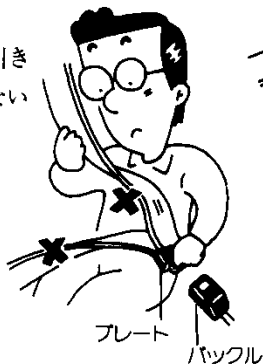
身体の動きにあわせて伸縮しますが、

- ①強い衝撃で身体が前に倒れそうなどときには
- ②ベルトが自動的にロックされ、身体を固定します。

## 〈装着のしかた〉

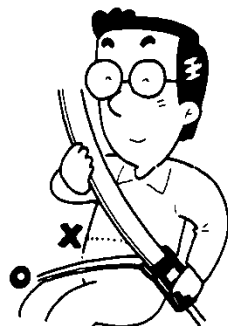
シートを調整し、正しい姿勢ですわります。

1. プレートを持って引き出し、ねじれていないことを確かめます。



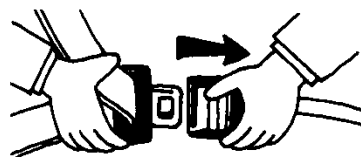
2. プレートをカチッと音がするまで確実にバックルに差し込みます。

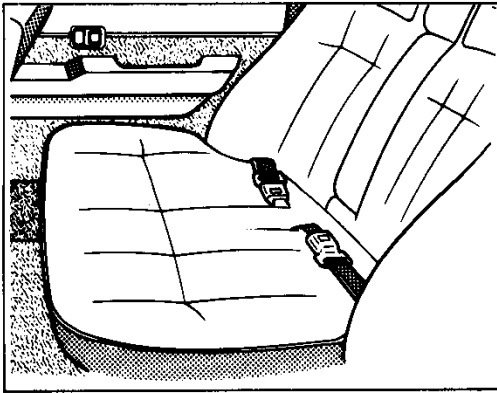
3. 腰部ベルトは必ず腰骨の位置にかかるようにします。



## 〈取りはずし方〉

1. バックルのボタンを押すとはずれます。
2. プレート側のベルトは自動巻き取り式ですので、ベルトをはずすと自動的に格納されます。
3. ベルトが自動的に格納されないときは、いったんベルトを引き出し、ねじれなどがないことを確かめます。ベルトを手に持ちながら、ゆっくりと巻き取らせてください。





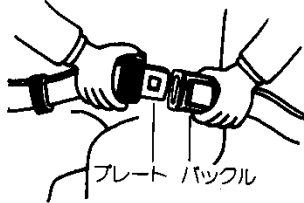
### ■リヤ・シート・ベルト

#### ▶長さ調整式(2点式)シート・ベルト

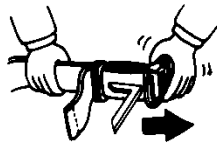
#### 〈装着のしかた〉

正しい姿勢ですわります。

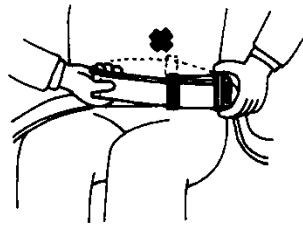
1. ベルトがねじれていないことを確かめてから、プレートをバックルに差し込みます。



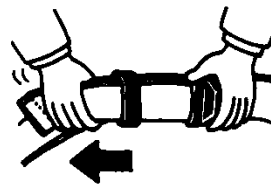
2. ベルトが短いときは、プレート側のベルトを下図の要領で伸ばしてください。



3. ベルトが必ず腰骨の位置にかかるようにします。

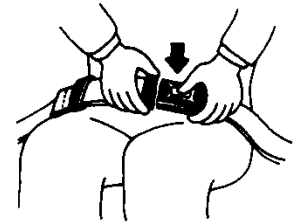


4. 下図のようにプレート側のベルトを引いてベルトのゆるみをなくします。



#### 〈取りはずし方〉

1. バックルのボタンを押すとはずれます。

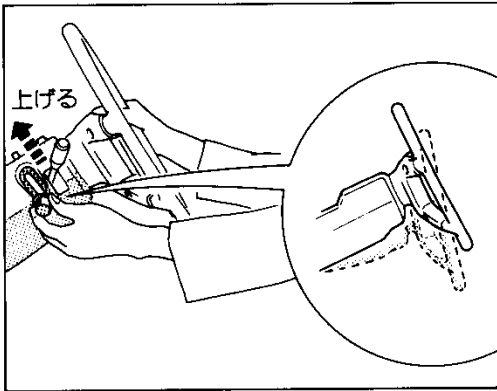
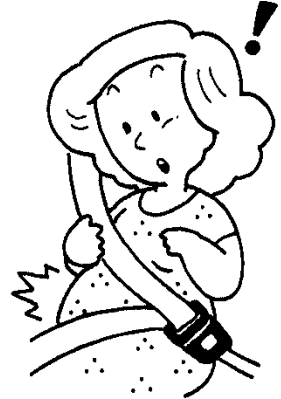


2. はずしたベルトは、プレートをバックルにはめておいてください。



注意!

1. フロント・シート・ベルトを装着した状態で、肩ベルトが首、あご、顔などに当たるようなお子さまの場合は、万のとき危険ですからリヤ・シートにすわり、リヤ・シート・ベルト(2点式)を装着してください。  
また、1人ですわることのできない乳幼児の場合は、シート・ベルトを使用しないでください。
2. ベルトは1人用です。2人以上で1本のベルトを使用しないでください。
3. 妊娠中の女性や疾患のあるかたのシート・ベルト装着は、万一の場合腹部などに強い圧力を受けるおそれがありますので医師にご相談のうえご使用ください。
4. ベルトのよごれは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯を使いブラシをかけて落としてください。薬剤などを使用するとベルトが弱くなり、万のとき正常な働きをしないことがあります。
5. ベルトをドアなどではさまないようにしてください。万のとき正常な働きをしないことがあります。
6. ベルト各部の損傷、作動状態を点検してください。  
ほつれ、すりきれができたり、金具部などが正常に作動しなくなった場合はベルトを交換してください。



## チルト・ステアリング(上下調整式ハンドル)

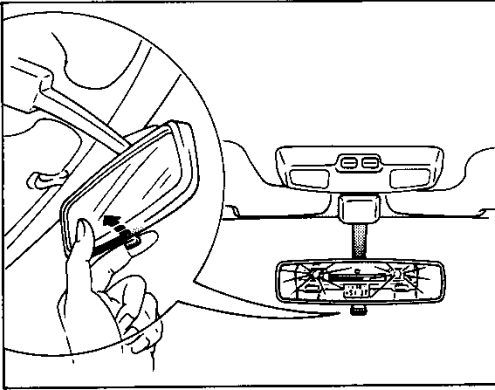
## ▶ 調整のしかた

- ① ツマミを押し上げている間、ハンドル位置を上下6段階に調整できます。
- ② 適切な位置でつまみを離せば、ハンドルはその位置で固定されます。
- ③ 調整後はハンドルを上下に動かして固定されたことを確認します。



注意!

ハンドルの位置調整は、走行前に行ってください。車が動いているときの調整は危険です。

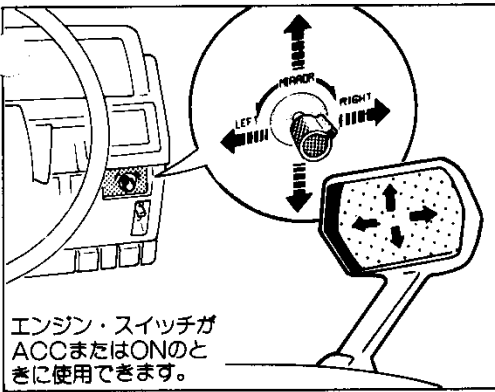


## 防眩ミラー



走行前に後方視野が十分確認できる位置に調整してください。

1. ミラー調整は、ハンドルを握る通常の姿勢で行ってください。
2. 夜間走行時など、後続車のヘッドランプがミラーに反射してまぶしいときは、ミラーの下にあるレバーを手前に引いてください。



エンジン・スイッチがACCまたはONのときに使用できません。

## 電動リモコン・ミラー



走行前に後方視野が十分確認できる位置に調整してください。

## ■電動フェンダー・ミラー

L G ツーリングを除く車に標準装備

L G ツーリングに注文装備

## ▶使い方

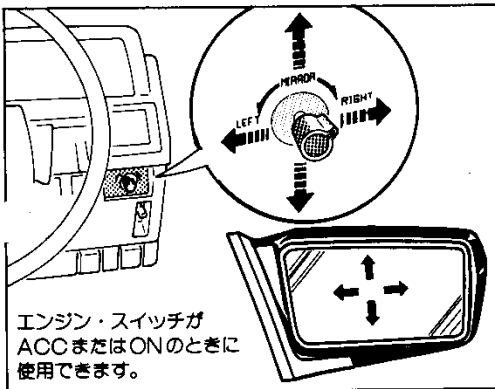
1. ツマミをRIGHTの位置に回して、上下左右に動かすと右側のフェンダー・ミラーの位置調整ができます。
2. LEFTの位置に回せば、左側のミラーも同様に調整できます。

## ■可倒式電動ドア・ミラー

注文装備です。

## ▶使い方

1. ツマミをRIGHTの位置に回して、上下左右に動かすと右側のドア・ミラーの位置調整ができます。
2. LEFTの位置に回せば、左側のミラーも同様に調整できます。



エンジン・スイッチがACCまたはONのときに使用できません。

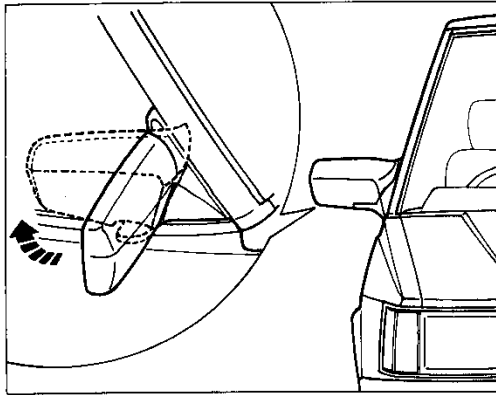


ちょっと一言

ドア・ミラーはフェンダー・ミラーに比べて、ミラーの張り出しが約10cm大きくなります。また、ミラーに映る像の距離感覚も異なりますので、ドア・ミラーに慣れるまでのしばらくの間、次の事項に注意して運転してください。

- 狭い道でのすれ違いや車庫入れ時、あるいは歩行者などに対してミラーの張り出しに気を配りながら運転してください。

- 運転席側と助手席側では鏡面の曲率半径が異なるため像の大きさが異なります。
- 助手席側のミラーを見るときに視線移動が大きくなりますので前方不注意とならないよう注意してください。



## ▶ ミラーの倒し方

狭い駐車場に車を止めるときや、立体駐車場、自動洗車機などを利用するときにミラーを保護するため、必要に応じてミラーを後方または前方に倒すことができます。

1. ミラーのカバーの端を車両後方に押すと、ミラーが後方に倒れたまま固定されます。



ちょっと一言

ミラーを強い力（約30kg以上）で押さないでください。

2. もともにもどすときは、カバーを車両前方に“カチッ”という音がするところまで起こします。



注意！

ミラーを倒したまま走行しないでください。